

● 授業計画

1年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	1限	薬理学特論	薬物や生理活性物質が生体のどの部位にどのように作用して生体機能を修飾するかを学習することを旨とする。	高橋豊平石兼	カンファレンスルーム

2年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第4	火曜	1限	薬理学特論	薬物や生理活性物質が生体のどの部位にどのように作用して生体機能を修飾するかを学習することを旨とする。	高橋豊平石兼	カンファレンスルーム
毎月	第1 第2 第3	金曜	3~4限	薬理学演習	分離培養した細胞を用いて、細胞機能を解明するための薬理学的手法を学び、その手技を演習を通して取得する。さらに論文の抄読会、研究セミナー、薬理学会などの多くの機会を通して、薬理学全般にわたる科学的基礎知識を習得するとともに演習する。	高橋豊平石兼	研究室
毎月	第1 第2 第3	水曜	1限	薬理学実習	研究テーマに従って、指導教員の下で実際の研究の方向性や実験手法を十分に議論し、研究概要の計画を立てる。その計画に従って、指導教員の技術指導を受けて、研究を進めて行く。得られた研究成果を科学的に客観的に評価し、議論する。	高橋豊平石兼	カンファレンスルーム&研究室

3年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第3	火曜	1限	薬理学演習	研究テーマに従って、指導教員の下で実際の研究の方向性や実験手法を十分に議論し、研究概要の計画を立てる。その計画に従って、指導教員の技術指導を受けて、研究を進めて行く。得られた研究成果を科学的に客観的に評価し、議論する。	高橋豊平石兼	カンファレンスルーム&研究室
毎月	第1 第2 第3	金曜	3~4限	薬理学実習	分離培養した細胞を用いて、細胞機能を解明するための薬理学的手法を学び、その手技を演習を通して取得する。さらに論文の抄読会、研究セミナー、薬理学会などの多くの機会を通して、薬理学全般にわたる科学的基礎知識を習得するとともに演習する。	高橋豊平石兼	研究室
毎月	第2 第4	月曜	3限	薬理学論文指導	研究結果の統計処理を行い、その科学的有意性の下に研究成果を整理しまとめ、論文作成を行う。論文執筆においては指導教員により、論文作成の指導を受け、大学院生自らが論文を書く能力が身につくように議論と修正を繰り返し、それらの過程を通して論文作成能力を養う。	高橋豊平石兼	カンファレンスルーム

4年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	水曜	1~2限	薬理学実習	研究テーマに従って、指導教員の下で実際の研究の方向性や実験手法を十分に議論し、研究概要の計画を立てる。その計画に従って、指導教員の技術指導を受けて、研究を進めて行く。得られた研究成果を科学的に客観的に評価し、議論する。	高橋豊平石兼	研究室&カンファレンスルーム
毎月	第2 第4	月曜	3限	薬理学論文指導	研究結果の統計処理を行い、その科学的有意性の下に研究成果を整理しまとめ、論文作成を行う。論文執筆においては指導教員により、論文作成の指導を受け、大学院生自らが論文を書く能力が身につくように議論と修正を繰り返し、それらの過程を通して論文作成能力を養う。	高橋豊平石兼	カンファレンスルーム